

# 武漢に日系専用工業団地が誕生 シスプロなど「オールジャパン」でサポート体制

武漢市で日系企業専用の工業団地プロジェクトが動き出した。国家級開発区「武漢東湖高技術開発区」の第2期分を日本企業専用地区として用意、2013～2014年の入居開始を目指している同プロジェクトにおいて、その企画運営を委託されているのが人材派遣・紹介サービスを手がけるシスプロ(大阪市北区)である。同社は、中国国家プロジェクト東湖高技術開発区から顧問企業として指名されていたが、昨年8月には武漢市商務局からも顧問企業として認定。今回のプロジェクトにスタート時から携わってきた。

シスプロの国際事業部ソリューション推進課セクションマネージャーで、武漢東湖高技術開発区の管理委員会招商局の顧問アドバイザーでもある丸山隆氏は、同プロジェクトについて「多くの日本企業の力を結集した『オールジャパン』で、最高の環境を提供できる工業団地を作りたい。そのために多くの企業の協力を得たい」と話している。

経済成長が目覚ましい武漢市に、新たな日系企業のビジネス拠点が生まれようとしている。

## 日系専用の工業団地 進出支援につなげる

新しい日系専用工業団地は、東湖高技術開発区プロジェクトの2期分として計画されたものだ。

東湖高技術開発区プロジェクトは総面積518km<sup>2</sup>(東京ドーム1,100個分)という広大な産業集約拠点とする計画で、第1期分はほぼ開発済み。工業・技術開発団地に加え住宅や商業施設、ホテルなどの総合的な街づくりが進んでいるという。

i-Phonの受託生産でも有名な世界最大手の電子機器受託メーカー「フォックスコン」(台湾)が区内に進出を果たしており、5万人規模の工場を年内に10万人規模に拡大する計画を打ち出しているなど、投資活動は活発化している。

日本企業専用となる第2期分「日本産業科技园」は113万m<sup>2</sup>(東京ドーム25個分)の規模で建設する計画となっている。

武漢市への日系企業の進出は、上海市に比べまだ少ないが、内陸部の成長市場から注目を集めており、今後の進出加速が予測されている。シスプロは、受け皿となる進出地を整備することで、その進出を支援したい考えだ。

今後の展開としては、5月にも現地側と合弁会社を設立し、企画運営母体とすると同時に、進出企業の支援体制を整備していく方針だ。

## オールジャパンで支援体制 日系企業の力を結集

シスプロは現在、精力的に東京と大阪で進出支援セミナーを開催している。

進出企業の誘致と情報提供がメインテーマだが、同工業団地の運営に携わる参加企業探しという一面もある。

同社では「オールジャパン」で企画・設計・運営チームを結成したい考えを持っており、あらゆる段階で役割を担う企業が必要となってくるからだ。

すでにアウトラインを担当する企業は野村総研に決定しているほか、内定企業も出てきているが「まだまだ協力は欲しい」(丸山氏)とのこと。

現にセミナー修了後、参加者が「ぜひ参加したい」と申し出て商談スタートのきっかけとなるケースも見受けられた。

テーマは「日本企業による日本企業のためのテクノパーク」「日本人が安心して生活できる住宅、商業施設の建設」であり、そのためには日本企業の知恵とノウハウ、技術が必要であるという考えのようだ。

シスプロは2009年に武漢市東湖高技術開発区に進出し、オフィス業務代行サービス等を展開している。

業務拡大に伴い区内の4カ所に点在するオフィスを、建設中の「光谷ソフトウェアパーク」の新ビルに集約する計画だ。オフィスレンタルサービスも1フロア1,600m<sup>2</sup>を準備し開始する計画だ。シスプロでは人材の採用から給与計算、データ入力などオフィス業務支援、政府機関などへの申請支援な

## 株式会社シスプロが提供する総合サービス

	<h3>総合人材 サービス</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ODC</li> <li>■ ITエンジニア派遣・紹介</li> <li>■ 管理職派遣・紹介</li> <li>■ 事務職派遣・紹介</li> <li>■ 一般ワーカー派遣・紹介</li> <li>■ 各種技術者派遣・紹介</li> <li>■ 人材育成・教育サービス</li> </ul>	<h3>バックオフィス サービス</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 勤怠管理</li> <li>■ 給与計算</li> <li>■ 翻訳</li> <li>■ 資金調達</li> <li>■ 上場支援</li> <li>■ 税務・会計</li> <li>■ 法務・労務</li> </ul>
<h3>会社設立支援 サービス</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ レンタルオフィス</li> <li>■ 電話・FAX・インターネット開設</li> <li>■ オフィス什器・内装手配</li> <li>■ ビザ申請代行</li> <li>■ オフィス仲介</li> <li>■ インターネット開設</li> <li>■ 法人登記</li> <li>■ 特許申請</li> </ul>	 <h2>日本企業を支援する フルサービス一覧</h2>	<h3>中国 IT 支援 サービス</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ SIサービス</li> <li>■ ICP取得、CNドメイン取得</li> <li>■ レンタルサーバ契約</li> <li>■ 社内 LAN 構築</li> </ul>
<h3>許認可申請ワンストップ サービス</h3> <p>東湖高新技术開発区との強力な関係により、ワンストップで迅速な対応が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 許認可申請・申告</li> <li>■ 助成金申請</li> </ul>		<h3>武漢市訪問支援 サービス</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 武漢視察ツアー企画</li> <li>■ チケット手配代行</li> <li>■ 通訳</li> <li>■ 車両手配</li> <li>■ 接待手配</li> </ul>
	<h3>営業支援 サービス</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ テレマーケティング</li> <li>■ FAXDM、DM サービス</li> <li>■ Web サイト制作・運営</li> <li>■ Webマーケティング・SEO・SEM</li> <li>■ 営業代行</li> <li>■ 展示会展</li> <li>■ 中国市場調査</li> <li>■ 店舗出店</li> </ul>	<h3>運営バックアップ サービス</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 物流サポート</li> <li>■ 日中間通信インフラ (新通信コスト削減化支援サービス)</li> </ul>

出所：シスプロ

ど総合サービスも一括して提供する方針で、工業団地についても同様のサービスを展開したい考えだ。

### 進出をトータルで支援 政府と強い繋がり

中国への進出やビジネス展開の成功のカギは、現地政府とのパイプだ。シスプロは、湖北省や武漢市政府と強いパイプを持っており、それが同社の強味であり、今回の日系企業専用団地に進出することのメリットともなっている。

イオンは、武漢市政府と2011年に協力意向書に調印。江岸区、武漢市経済技術開発区、東西湖開発区の3カ所に大型ショッピングセンターを建設す

ることを決定しているが、店舗建設の候補地の選定で、当初、協議が難航した。

これを橋渡しし、プロジェクトを前進させたのがコンサルティングを引き受けているシスプロであった。

イオン側は日本や各地でのノウハウから候補地を選定したのだが、現地政府はその意図がわからない。

「決して、現地政府側が意地悪をしているわけではないんです。日本側の意図が理解できなかっただけで、それはある意味、当然のことです。両者の意図を尊重しつつ、コミュニケーションを円滑に進めるのが我が社の役割です」(丸山氏)。

イオンのショッピングセンターが完成すれば、欧米や日本の有名ブランド

製品が大量に売られるようになり、日本のビジネスモデルやサービス理念が武漢に導入されることになる。これは武漢市にとっても大きなメリットがある。

両者のコミュニケーションがうまくいけば「WIN-WIN」の関係を築くことができるというわけだ。

この思想は、もちろん新しく建設される日系企業の専門団地にも適用されることになる。

そのための「オールジャパン」のチーム作りが急ピッチで進められている。

